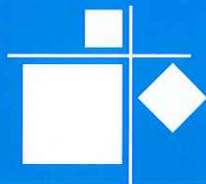


P
R
E
-
E
V
E
N
T



tome international art triennial

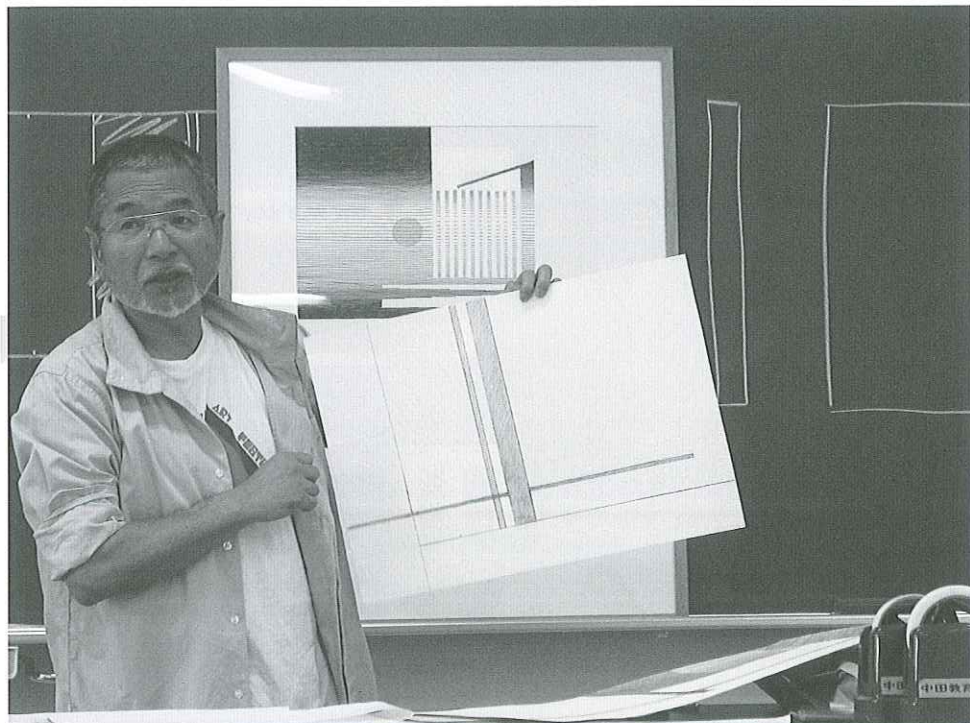
プレイベント



大人の絵画教室

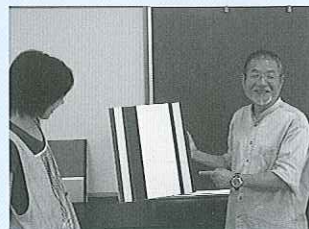
幾何学構成絵画 入門編

開催月日 7月24日(土)~8月1日(日)全4回
 制作場所 Satoru Sato Art Museum・
 中田生涯学習センター
 参加人数 14人
 講師 佐藤 達氏



市民の要望を受け、日本では初めてとなる幾何学構成絵画教室を開催。プログラムはバリ第八大学学生が初めに学ぶカリキュラムと同じ内容。

不安と期待ではじまった絵画教室だが、回を重ねるごとに受講者たちは夢中になり、幾何学アートにのめりこんでいた。

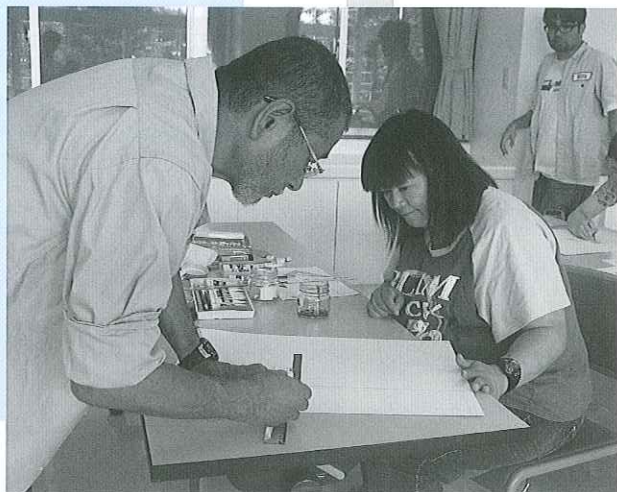


カリキュラム

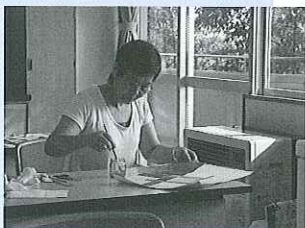
- 1回目 A4にデッサン
ミュージアム作品鑑賞
四つ切デザイン
- 2回目 色紙を使ったコラージュと
直線の世界
からす口の仕方
- 3回目 直線の世界、キャンバス使用
- 4回目 キャンバスにアクリル絵具で制作

【各受講者完成作品】

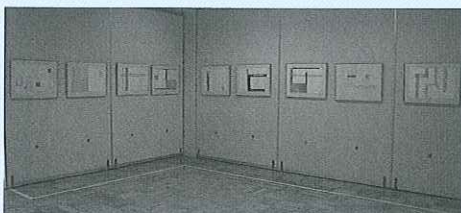
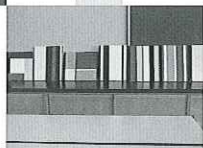
四つ切画用紙2作品・キャンバス2作品
作品は額装し市民ギャラリーに
展示された



宮城にはサッカー、野球、
バスケのプロチームが
ある。登米にはアートがあ
り、子供達は本物を身近に
感じ未来の夢が広がるこ
とは素晴らしいですね。
(参加アンケートから)



受講後に3階のミュージアムに行くと
昨日とは全く違う作品に見えた自分に
ビックリしました。
(参加アンケートから)



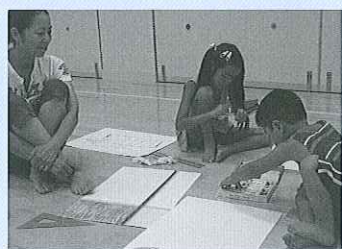
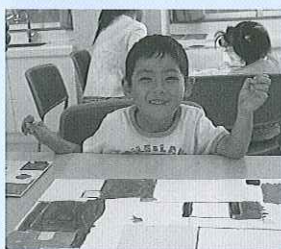
キッズトリエンナーレI

第13回佐藤達絵画教室

開催月日 7月31日(土) 9:00~12:00
 制作場所 Satoru Sato Art Museum・
 中田生涯学習センター
 参加人数 45人
 講師 佐藤 達氏

鮮やかな色彩の外国作家作品が並ぶミュージアムの中で、「自由に描く」をテーマに絵画教室を開催。こどもたちは○△□をモチーフに感性豊かに描きあげました。

完成した全作品は額装され市民ギャラリーにトリエンナーレ期間中展示されました。



素敵な作品を見て9才の娘はとても心に響いたようでした。約2時間かけて描いた作品に満足ようです。素晴らしい作品を見ただけで描く気持ちを大きくさせて頂いたので、また参加したいと思います。色を使って描いていきいぎした娘が見れて幸せでした。(参加アンケートから)

床に座って自由に描いて、子供達は楽しそうでした。来年も楽しみにしています。(参加アンケートから)



キッズトリエンナーレⅡ

ワークショップ

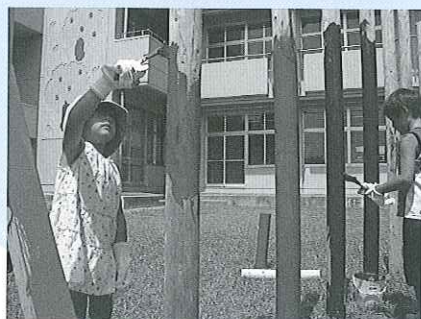
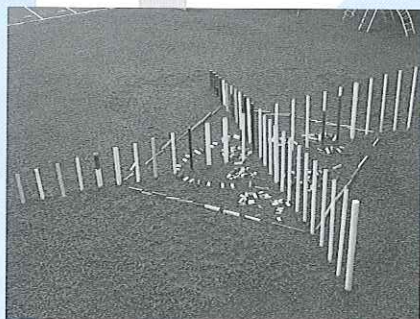
開催月日 8月7日(土)～8日(日)
 制作場所 9:00～12:00
 Satoru Sato Art Museum前
 参加人数 延べ31人



猛暑の中、庭に十字に並べた丸太と角材に三原色を塗り角材は矩形に並べトリエンナーレ作品として設置されました。子供達にとって大きな刷毛でペンキを塗る作業ははじめての体験の様子。鮮やかな色彩で仕上がっていくワークショップを親子で楽しみました。

外でこんなに大胆に色をぬるのははじめての体験で楽しかったです。
 (参加アンケートから)

このようなイベントを行っているのははじめて知りました。
 (参加アンケートから)



トリエンナーレカレッジ

トリエンナーレを200%楽しむ!

開催月日 ①7月29日(木)
②8月25日(水)
制作場所 Satoru Sato Art Museum
中田生涯学習センター
参加人数 延べ23人



■ tome international art triennial
登米アートトリエンナーレ2010 プレイベント

トリエンナーレを200%楽しむ!
トリエンナーレカレッジ

2010年7月29日(木)
8月25日(水)
中田生涯学習センター
学芸室

次 第

1. 開 会
2. 登米市でトリエンナーレをする意味とは...
3. トリエナーレを楽しむ方法
1) トリエナーレとは
2) プレイベント
3) イベント紹介等
4. 作家の紹介
アドバイザー：佐藤 達 氏
5. Satoru Sato Art Museum 案内
6. 閉 会

登米アートトリエンナーレ2010 実行委員会事務局よりのご案内

本当に巨匠といわれる作家の方々がきて、実際に作品を作られるのだということを知り、とても興味がわきました。実行委員会の皆さんの思いが伝わってきてぜひ参加したいと思いました。
(参加アンケートから)



参加して、より一層興味が湧いて楽しそうです。
(参加アンケートから)

トリエンナーレを見たいと思っていたのでとても参考になりました。
(参加アンケートから)

登米アートトリエンナーレ2010



幾何学構成アートに傾向を絞った
全国でも珍しい祭典!

アート出前講座

絵画教室・講演会

開催月日 7月9日(金)、13日(火)、
14日(水)、15日(木)
開催場所 市内小学校6校、中学校2校 計8校11回
参加人数 延べ435人
講師 佐藤 達氏



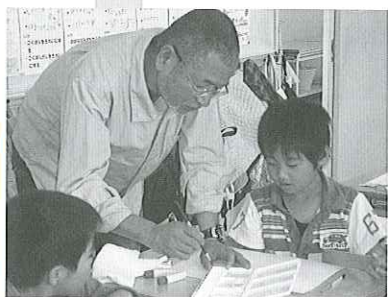
▲講師の母校でもある石森小学校

市内の小・中学校での出前講座は絵画教室と講演会を希望校を募り実施しました。

サトル先生から直に指導を受けて、子どもたちは緊張の面持ちも見受けられました。

鉛筆、紙を使用して「一番大きな○を書いてみよう!」では、学校の担任の先生も参加し、子どもたちの発想の柔軟さに顔負けという一面も。

「○△□を1つずつ好きな大きさに自由に描いてみよう!」では、みんなのオリジナルの世界に1つの作品が完成!

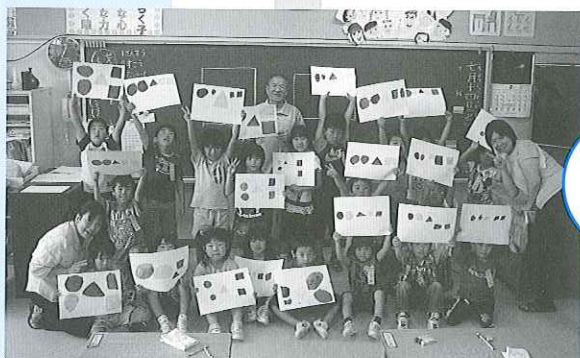


▲中津山小学校



▲浅水小学校放課後子ども教室

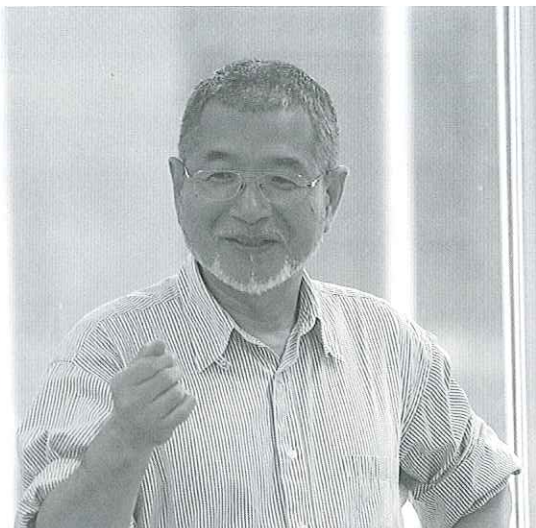
とても楽しかった。
今度は美術館や
秋の行事に行き
みたいです。
(受講した児童
から)



一人、ひとり、夢中で描いたその作品は、
ひとりとして同じものはない。
それぞれに個性のある、
色鮮やかで伸び伸びとした、
これから始まるトリエンナーレへの、
そして未来への希望が映し出されたような
仕上がりととなりました。

アート出前講座

佐藤達氏を輩出した地元、登米市において、これまでも各学校へ出向いて、絵画教室や講演会などを実施してきました。今年は、トリエンナーレのイベントとして、さらに力が入ったのではないのでしょうか。
第2のサトルをめざせ!



サトル氏がパリに行きたいと幼少の頃に思い至ったきっかけをお話され、「みんなの将来の夢は?」という質問に生徒たちは「野球選手」「お花屋さん」「先生」…。

「日仏の文化の違いは?」という生徒の質問に講師から、学校、生活、文化、社会のシステム等について話され、生徒たちは真剣に聞き入っていました。

▲登米小学校 構成を念頭に…真剣そのもの



▲石越中学校 紙、鉛筆、ハサミを使い?!講演会

アート出前講座実施校一覧

- 7月 9日 南方小学校 5年生(31名)、6年生(43名)
登米小学校 6年生(45名)
- 7月13日 石森小学校 2年生(21名)、3年生(28名)
石越中学校 全校(157名)
- 7月14日 中津山小学校 1年2組(20名)、
浅水小学校 放課後子ども教室
1~5年生(20名)
- 7月15日 新田小学校 6年生(22名)
新田中学校 3年生(28名)

※石越中学校ではワークショップを盛り込んだ講演会でした。